

**(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)****1. 連結の範囲**

連結子会社数	117社
主要会社名	(国内) (株)クボタ工建、(株)クボタクレジット、クボタメゾン(株)、クボタ環境サービス(株)、クボタシーアイ(株)
	(海外) クボタトラクター Corp.、クボタクレジット Corp.、U.S.A.、クボタマニュファクチャリング オブ アメリカ Corp.、クボタエンジンアメリカ Corp.、クボタメタル Corp.、クボタパウマシーネン GmbH、クボタヨーロッパ S.A.S.

なお、上記の主要会社のうち、クボタメゾン(株)については、平成19年7月27日に別途情報開示したとおり、(株)アーバネックスに全株式を譲渡する方向で協議を進めております。当該開示のとおり譲渡契約が締結された場合、70%の株式が譲渡された段階(平成19年10月を目処)で当社の連結子会社ではなくなり、持分法適用関連会社となります。さらに、残りの30%の株式が譲渡された段階(平成21年4月を目処)で、持分法適用関連会社からも外れることとなります。

**2. 持分法の適用**

持分法適用関連会社数	25社
主要会社名	(国内) (株)福岡クボタほか農機販社計17社、クボタ松下電工外装(株)

**3. 会計処理の方法**

当社は米国会計基準に基づいて連結財務諸表を作成しております。ただし、セグメント情報につきましては日本基準に準拠して作成しております。

**4. 金融収益および金融費用の表示**

当社は前第1四半期の連結損益計算書上、小売金融取引に係る金融収益と金融費用は主として「その他の収益(費用)」の「受取利息」と「支払利息」にそれぞれ含めて表示しておりましたが、小売金融取引の重要性が増し、当社の主要または中心的な営業活動となってきたため、19年3月期(通期)よりそれぞれ「売上高」と「売上原価」に含めて表示しております。これに伴い、前第1四半期の連結損益計算書を組替再表示しております。なお、売上高に含まれる金融収益は当第1四半期6,292百万円、前第1四半期4,724百万円であり、売上原価に含まれる金融費用は当第1四半期3,535百万円、前第1四半期2,557百万円です。

**5. 非継続事業**

FASB基準書第144号「長期性資産の減損または処分の会計」の規定に基づき、当第1四半期以前に非継続となった事業に関し、過年度の連結損益計算書を一部組替えて表示しております。

**6. 組替再表示**

前年同期及び前期の連結財務諸表は、当四半期で採用している表示方法に従って組替再表示しております。

**7. 四半期決算における簡便な会計処理方法の採用**

税金費用の計算等、一部の会計処理に簡便な方法を採用しております。